

2012 年度活動報告

2012 年度の東京災害ボランティアネットワークは、昨年度同様、東日本大震災被災者支援活動に全力で取り組むこととなりました。東京災害ボランティアネットワーク参加団体の多くもそれぞれで被災地に拠点を置いて被災者支援活動に尽力することとなりました。

2012 年度は、地元の団体に活動を引き継ぎながら、前半は毎週末のボランティア派遣、後半は毎月のボランティア派遣を実施し、2013 年 3 月末をもって、現地での被災者支援活動を宮城県登米市の各団体に引き継ぎ、現地事務局を撤収することとなりました。

また、現地での被災者支援活動を引き継ぐ間、都内に避難している主に福島県からの避難者の方々への支援を模索してまいりました。一方、首都直下地震に備えた取り組みとして、東京ボランティア・市民活動センターを中心とする「東京都災害ボランティアセンター（仮）設置運営に関する検討会」を立ち上げ、様々な関係団体の皆さまとともに意見交換をしていく場づくりに尽力してきました。

一方で、東京災害ボランティアネットワークとしての組織運営にかかるいくつかの取り組みについて、定期的な開催ができなかったり、遅れてしまったりと、活動と組織運営の両立が難しいことも感じた一年となりました。

■東日本大震災被災者支援活動の取り組み

- ・2011年3月11日に発災した東日本大震災の被災者支援活動を、これまでの経験、ネットワークとしての知恵を結集して全力で実施しました。
- ・宮城県登米市をボランティア拠点として、主に宮城県南三陸町の被災者の方々の支援を実施しました。

<これまでの経過>

◆2011年

03月11日 東日本大震災発災

03月17日 第二回東京災害ボランティアネットワーク役員会開催(臨時役員会として開催)。

【第一期支援活動の実施(04月02日~09月30日:26週)】

04月02日 東京災害ボランティアネットワーク被災者支援活動ボランティア派遣開始

07月19日 NOプログラム実施(~7月21日)

07月31日 仮設住宅での支援プログラム(ふれあい喫茶)を展開

【第二期支援活動の実施(2011年10月1日~2012年3月31日:24週)】

10月01日 第二期支援活動のボランティア派遣の開始

◆2012年

03月20日 2012年度の被災地での活動を終了

【第三期支援活動の実施(2012年4月1日~9月30日:24週)】

04月21日 現地ボランティア宿泊拠点を移転して第三期支援活動のボランティア派遣の開始

【第四期支援活動の実施(2012年10月19日~2013年3月18日:6週)】

10月19日 月一回のプログラムでボランティア派遣の開始

◆2013年

03月18日 第四期支援活動終了



- 名称 : 東日本大震災被災者支援活動（第三期～第四期）
- 期間 : 2012年4月21日～2013年3月18日
- 場所 : 宮城県南三陸町、および登米市
ボランティア宿泊拠点は、登米市から登米町保健センター2階施設を借用
- V参加数 : 389名（のべ1556名/日）
- プログラム : 仮設住宅支援活動（登米市内6ヶ所、南三陸町内1ヶ所）、横山不動尊ふれあい太鼓支援活動、南三陸町福祉祭り支援活動
- 財政協力 : ジャパンソサエティ、中央労働金庫、真如苑、東京都共同募金会、中央共同募金会、東京ボランティア・市民活動センター（墨田区社会福祉協議会、狛江市社会福祉協議会、品川ボランティアセンター、豊島区社会福祉協議会、昭島市社会福祉協議会、中野ボランティアセンター、多摩ボランティアセンター）、連合東京（情報労連、自治労東京、電機連合、フード連合、運輸労連、全労金、JEC連合、UIゼンセン、電力総連、JR総連、全国ガス、全駐労東京、港湾同盟、自動車総連、全造幣）、東京都生活協同組合連合会（パルシステム東京、コープとうきょう、パルシステム東京、東都生協、生活クラブ生協、大学生協東京事業連合、東京医療生協、東京保健生協、南部生協、自然派くらぶ生協、パルシステム連合会、全労済東京都本部、コープ共済連、日本生活協同組合連合会、COOP災害ボランティアネットワーク）、Youth for 3.11、真如苑 SeRV、みやけじまく風の家、セカンドハーベスト・ジャパン、東日本大震災被災者支援全国ネットワーク、日本財団 ROAD プロジェクト、ニッポンレンタカー

他多数の個人・団体の方々

■被災地からの協力

: 南三陸町、南三陸町災害ボランティアセンター、南三陸町被災者生活支援センター、登米市、登米市社会福祉協議会、登米市登米町三日町町会、横山不動尊、大徳寺、他各仮設住宅の自治会をはじめとする被災者の方々

■財政報告 : P16 参照



■首都圏大災害に向けた具体的な対応策の検討

◆帰宅困難者課題に向けた取り組み

2012年度は、2011年9月に発足した「首都直下地震帰宅困難者等対策協議会」に構成員として東京災害ボランティアネットワークも参加してまいりました。協議会委員として山崎代表が、幹事として上原事務局長を派遣しました。協議会は、2012年9月の第四回協議会での報告を最終答申として、その後については、継続的に情報交換し協議する場として「首都直下地震帰宅困難者等対策連絡調整会議」を設けることとなりました。こちらには福田事務局次長を派遣しております。

【2012年】

- 04月26日 第07回首都直下地震帰宅困難者等対策協議会 幹事会・WG
- 06月01日 第08回首都直下地震帰宅困難者等対策協議会 幹事会・WG
- 07月31日 第09回首都直下地震帰宅困難者等対策協議会 幹事会・WG
- 09月04日 第10回首都直下地震帰宅困難者等対策協議会 幹事会
- 09月10日 第04回首都直下地震帰宅困難者等対策協議会

【2013年】

- 01月30日 第01回首都直下地震帰宅困難者等対策連絡調整会議



首都直下地震帰宅困難者対策協議会で作成された帰宅困難者に関するリーフレット。

内閣府ホームページ
<http://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/pdf/101110.pdf>

◆東京都災害ボランティアセンター（仮）の運営等に関する検討委員会

2012 年秋に改訂された東京都地域防災計画の中で、災害ボランティアに関する内容が大幅に変更となりました。従来の 13 ヶ所拠点構想から離れ、東京都と東京ボランティア・市民活動センターが協働で災害時に東京都災害ボランティアセンター（仮称）を設置することとなりました。

そこで、東京都、および東京ボランティア・市民活動センターでは、この東京都災害ボランティアセンター（仮称）の運営を様々な民間団体とともに検討する場を設けました。

東京災害ボランティアネットワークは、この検討会に積極的に協力し、委員派遣を行ってきました。

【2013 年】

02 月 28 日 第 01 回都災害ボランティアセンター(仮)の運営等に関する検討委員会

03 月 14 日 第 02 回都災害ボランティアセンター(仮)の運営等に関する検討委員会

この検討委員会には、東京災害ボランティアネットワーク参加団体である「東京 YMCA」「東京都生協連」「シャンティ国際ボランティア会」や、全国的な災害ボランティアのネットワーク組織である「震災が残した全国ネットワーク」や「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議」、海外支援 NGO のネットワーク組織である「ジャパンプラットフォーム (JPF)」や「国際協力 NGO センター (JANIC)」、市区のボランティアセンター等が検討委員団体として参画しています。



これまで3回開催されてきた検討委員会。東日本大震災の経験を踏まえながら、積極的な意見交換がおこなわれています。

■地域や組織・団体の防災力向上に向けて取り組み

・地域や組織・団体の講座・研修に講師派遣・プログラム提供をおこなうことで、防災力向上に向けた取り組みを実施しました。

【講師派遣】(23回)

2012.04.04	連合江戸川	災害講座	講師派遣
2012.04.27	真如苑	災害V講座	講師派遣
2012.05.19	連合千葉	災害V研修	講師派遣
2012.05.27	全労済西多摩	災害研修	講師派遣
2012.06.02	日立製作所	V研修	プログラム提供
2012.06.29	TVAC	災害V研修	講師派遣
2012.07.05	連合東京東部地協	災害研修	講師派遣
2012.07.09	三日町町会	市民講座	講師派遣
2012.07.17	千葉県立検見川高校	教育基礎講座	講師派遣
2012.08.11	浜松市社協	災害V講座	プログラム提供
2012.09.01	品川VC	災害V講座	プログラム提供
2012.09.03	千葉県船橋古和高校	教育基礎講座	講師派遣
2012.10.21	TVAC	災害V講座	講師派遣
2012.10.30	大田区社会教育課	生涯学習	プログラム提供
2012.11.17	市川災害Vネットワーク	災害V講座	講師派遣
2012.12.25	せせらぎコミュニティ協議会	防災市民講座	講師派遣
2013.02.14	コープとうきょう	理事勉強会	講師派遣
2013.02.23	かつしかVC	災害V講座	講師派遣
2013.02.26	荒川VC	災害V講座	講師派遣
2013.03.05	世田谷区社協	民協勉強会	講師派遣
2013.03.06	みなとVC	災害V講座	講師派遣
2013.03.12	町田自治研センター	職員研修	講師派遣
2013.03.26	TVAC×震つな	移動寺子屋	プログラム提供

なお、上記事業以外にも、各団体・地域が取り組む防災講座・研修にあたり、プログラムの提案・研修内容へのアドバイスなどを実施しています。

【委員派遣】

東京都共同募金会配分委員派遣	委員派遣	上原
内閣府・東京都「首都直下地震帰宅困難者等対策協議会」	委員派遣	山崎
内閣府・東京都「首都直下地震帰宅困難者等対策協議会幹事会」	委員派遣	上原
内閣府・東京都「首都直下地震帰宅困難者等対策連絡調整会議」	委員派遣	福田
内閣府「防災ボランティア活動検討委員会」	委員派遣	福田
東京ボランティア・市民活動センター運営委員会	委員派遣	福田
東京都災害ボランティアセンター(仮)の運営等に関する検討委員会	委員派遣	福田

【委託事業】

- ・地域や組織・団体といった「集団として」の防災力向上に向け、市民講座や研修などを開催しました

東京都生協連(5回)

2012.10.13	COOP 災害ボランティアリーダー養成講座	第一回	開講式／記念講演
2012.12.01	COOP 災害ボランティアリーダー養成講座	第二回	地域連携プログラム
2012.12.08	COOP 災害ボランティアリーダー養成講座	第三回	災害シミュレーション
2013.01.21	COOP 災害ボランティアリーダー養成講座	第四回	普通救命講習
2013.02.09	COOP 災害ボランティアリーダー養成講座	第五回	炊き出し体験／修了式



2012年12月1日におこなわれた地域連携プログラムでは、目黒区社会福祉協議会と連携しての防災まち歩きプログラムとなりました。

■ 広く市民の方々の防災・減災意識啓蒙に向けての取り組み

・より多くの様々な主体が参画・協働できるイベント型啓蒙活動やシンポジウムを実施しました。

◇1.17 イベントの開催

毎年1月17日前後に全国的に開催されている「1.17 灯りのつどい」。東京災害ボランティアネットワークでは、2000年から取り組み続けているイベントですが、多くの団体とともに連携・協働するイベントとして定着しています。

いま、わたしたちに、できること。

2013 KOBE MEMORIAL 1.17 灯りのつどい

日 時：2013年1月12日(土) 16時00分～18時00分

場 所：東京国際フォーラム地上広場

内 容：灯りのつどい／炊き出し(お汁粉)／煙体験ハウス／パネル展示
／スクリーン映像

参加者：約600名(炊き出し食数より)

主 催：東京災害ボランティアネットワーク

共 催：(株)東京国際フォーラム／東京ボランティア・市民活動センター

後 援：東京都



10年以上にわたり東京国際フォーラムで開催していることもあり、「来年も開催するんですか？」との声も数多くいただきました。

◇広域避難者支援ミーティング in 東京の開催

東日本大震災で都内に数多く避難している被災者の方々を支援している団体が集うミーティングを関係団体等と連携して実施しました。

■参加団体、および関係団体との連携を深める活動

- ・東京災害ボランティアネットワークの全ての活動は、参加団体、および関係団体との信頼関係に基づく連携と協働によって実施されています。東日本大震災被災者支援活動や 1.17 イベントはその最たる取り組みではありますが、2012 年度は、2011 年度と同様に東日本大震災支援全国ネットワークへの参画等、関係団体との連携を深める活動を実施することができました。

◇東日本大震災支援全国ネットワーク

東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）は、東日本大震災における被災者支援活動に携わる NPO、NGO、企業、財団、社団、協議会、機構、プロジェクト、ボランティア・グループ等、セクターを越えた全国規模の民間団体による災害支援のためのネットワーク組織です。

◇第 8 回静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練

2005 年から開催している静岡県ボランティア協会等が主催する図上訓練の企画作りに数多くの団体（約 40 団体）とともに参画しました。2012 年秋から始まった企画ワーキンググループのメンバーとして福田を派遣してきました。

◇震災がつなぐ全国ネットワーク（ROAD プロジェクト）

1995 年の阪神・淡路大震災を契機に設立された「震災がつなぐ全国ネットワーク」。東日本大震災では、日本財団×震つな「ROAD プロジェクト」として協働してきましたが、今後の「震つな」について検討するメンバーにオブザーバーとして参加させていただきました。



静岡県では、様々な県内団体、および県外団体の方々と協働で図上訓練のプログラムを企画しています。東災ボ事務局もですが、東災ボ参加団体のいくつかもこの訓練プログラムの企画に関わっています。

■みやけしまく風の家を通じた三宅島交流活動

東京災害ボランティアネットワークは、2000年の三宅島噴火災害、およびそれに伴う2005年の帰島支援ボランティア活動を経て、三宅島の皆さんと交流できる取り組みを実施してきました。

三宅島年末お掃除ボランティア

2005年の年末から始まったこの「三宅島年末お掃除ボランティア活動」も2012年で8回目となりました。2005年2月から8月まで約半年間におよんだ帰島支援ボランティア活動。多くのボランティアの方々に参加していただき、支援する者と支援される者の壁を超えた交流を持つことができました。

2005年10月からは、復興支援として、島民の加齢と島の高齢化課題に取り組む試みとして島民自身が運営する「みやけしまく風の家」を通じて様々な活動を展開しています。

日 時：2012年11月30日(金)～12月02日(日)：20名
2012年12月14日(金)～12月16日(日)：24名

場 所：三宅島

主 催：みやけしまく風の家／東京災害ボランティアネットワーク

参加者：東京からのボランティア参加 42名
三宅中学校ボランティア参加 12名
三宅島現地事務局ボランティア 8名 計 62名

プログラム

：お掃除件数 15件

島内視察 島民ボランティアによる島内一周視察



毎年恒例となっている年末お掃除ボランティアでは、地元の三宅中学校の生徒も参加。また、東日本大震災被災者支援活動に参加した方々も協力してくれました。

■運営体制の強化

◇財政体制の強化

東災ボの財政体制を強化するにあたり、会費納入の徹底を図ることが必須となっています。2009年度からは、財政管理担当事務局員を置いたことにより、参加団体からの会費納入の管理が徹底され、納入額も安定してきました。

2010年度会費納入額	¥1,248,000
2011年度会費納入額	¥1,313,000
2012年度会費納入額	¥1,322,265

◇事務局体制の強化

事務局体制の強化として、東日本大震災支援のために、現地事務局担当として、成清正信さん、北山光治さん、上原泰順さんの3名が非常勤事務局員として活動に参加してくださりました。

常勤	事務局長	上原泰男	
	事務局次長	福田信章	
非常勤	事務局員	厚澤糸江	(会計担当)
	事務局員	成清正信	(東日本大震災支援担当)
	事務局員	北山光治	(東日本大震災支援担当)
	事務局員	上原泰順	(東日本大震災支援担当)



東日本大震災支援活動会計

2011年3月12日から2013年3月31日まで

収入		・59,100,896
支援金		・48,259,194
	個人	・1,380,182
	団体	・46,879,012
助成金		・10,840,000
	東京都共募	・8,000,000
	中央共募	・2,840,000
雑収入		・1,702
	利息	・1,702

支出		・58,414,962
事業費		・31,781,716
	物品購入費	・9,387,157
	ボランティア派遣費	・15,108,118
	車両関連費	・5,869,828
	特別プログラム費	・1,416,613
管理費		・26,633,246
	施設管理費	・1,021,261
	事務費	・4,146,589
	人件費	・14,910,000
	交通費	・6,319,100
	交際費	・236,296
	その他予備費	・0

収支		・685,934
----	--	----------

2011年3月から始まった東日本大震災被災者支援活動ですが、2013年3月末で特別会計を閉じ、今後は一般会計の中で、東日本大震災被災者交流訪問活動として実施していきます。2011年3月12日から2013年3月31日までの特別会計の総会計を記します。